

会員事業所の皆さまへ

～ 交通死亡事故防止 緊急メッセージ ～

北海道では、交通事故死者数が減少傾向にあるなか、安全運転管理者選任事業所では今年に入り従業員等が第一当事者となる交通死亡事故が増加しております。

残念ながら、6月16日夜、登別市で発生した道路横断中の女性との衝突事故で、死亡事故が11件（前年同期比+5件）、死者数11人（前年同期比+5人）となつてしまい極めて憂慮すべき事態となっております。

これらの事故原因を見ますと、悪質・危険な交通違反によるもののほか、その多くはほんの少しの油断、ちょっとした不注意、マナー違反が重大な結果を招いております。

昨年は、安管選任事業所で7月29日から8月31日までの僅か1ヵ月間に5件6人の交通死亡事故（路外逸脱等（2件、2人）、対自転車（1件、1人）、大型二輪転倒（1件、1人）、正面衝突（1件、2人））が連続的に発生しており、今年も戸外活動が活発となるこれからの季節に、業務中の事故や、観光・レジャー等による死亡事故の発生が心配されるところであります。

各事業所等で車を運転される皆さんは、

- スピードダウンを励行し、安全確認を怠らない
 - 全席でシートベルトを着用する（運転手はベルト着用を確認した後に発進）
 - うっかり・ぼんやり運転を防止し危険を予測した防衛運転に努める
 - 飲酒運転は悪質で重大な犯罪 二日酔い運転を含め飲酒運転は絶対にしない
- など、業務中の運転はもとよりマイカーの運転時にも安全運転行動を確実に実践していただきますようお願い申し上げます。

交通事故は決して他人事ではありません。道路を利用する一人一人が、交通ルールやマナーを守り、思いやりと譲り合いの心をもって行動することが事故防止につながります。ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

皆さまにおかれましては、新型コロナウイルスの感染拡大のため、何かと制約が多く、不自由な生活を強いられていることと存じますが、くれぐれもご自愛くださいませ。

令和3年6月18日

一般社団法人 北海道安全運転管理者協会 会長 中田 隆博